

佐久間艇長



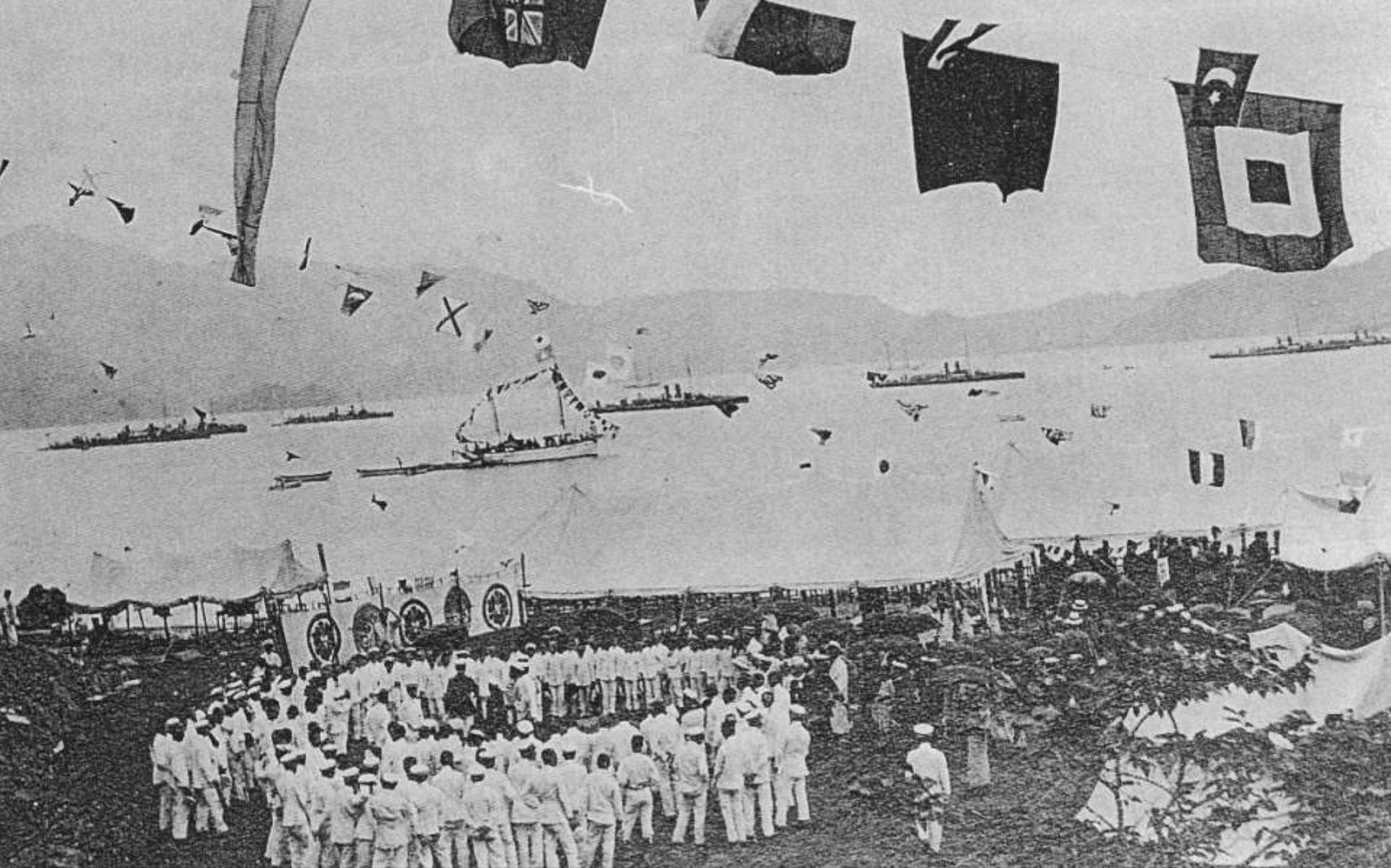
～沈着勇断～

夏目漱石が名文と激賞し、
与謝野晶子が追悼歌を十余首も詠んだ
佐久間艇長の遺書……

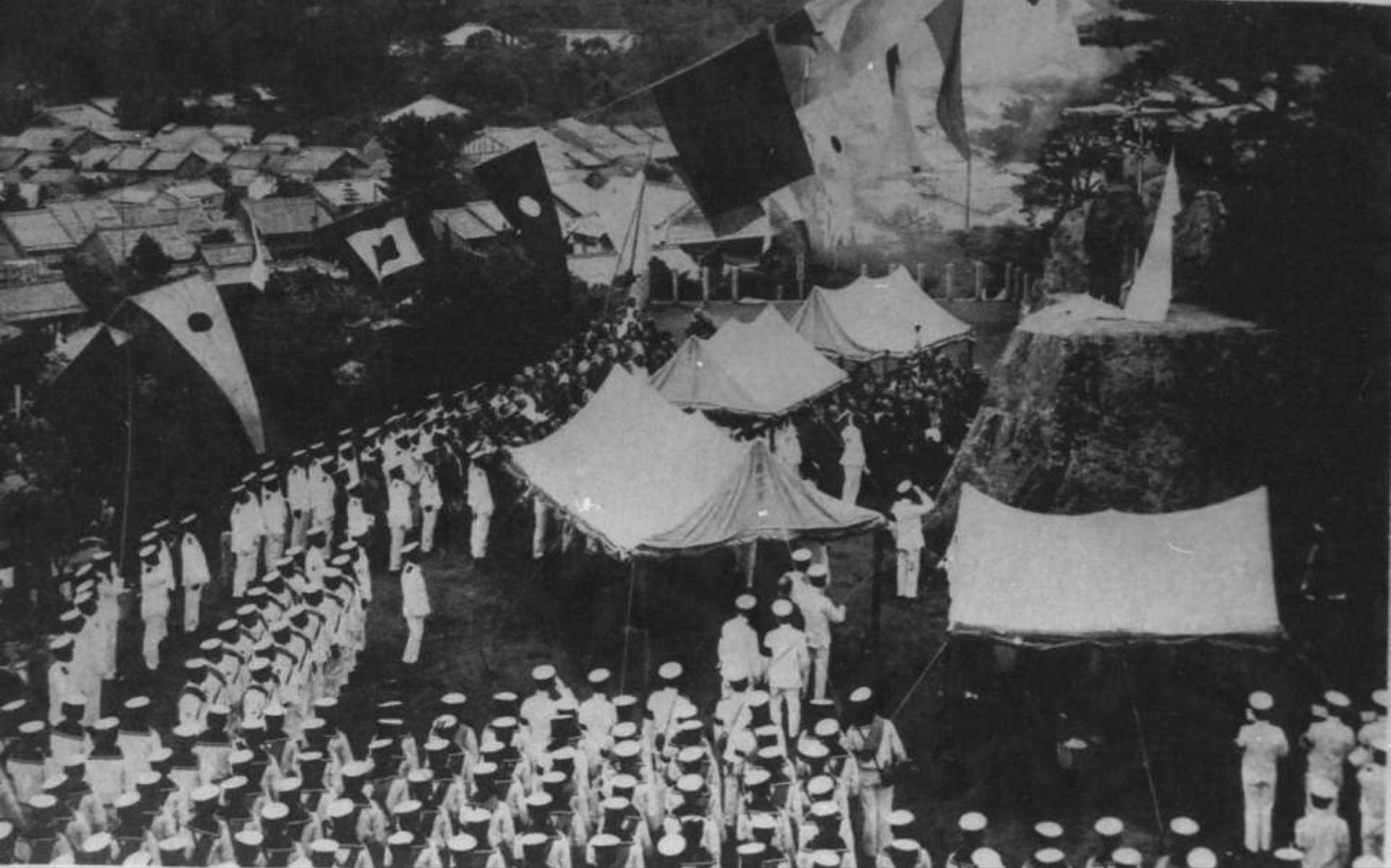
沈没潜水艇の中にあって死の寸前、
沈着冷静な遺書をしたためた艇長の下、
全艇員はおのおのの持ち場についた
まま絶命していた。

大正2年、東京の自邸で
佐久間大尉の銅像を製
作中の沼田一雅氏。

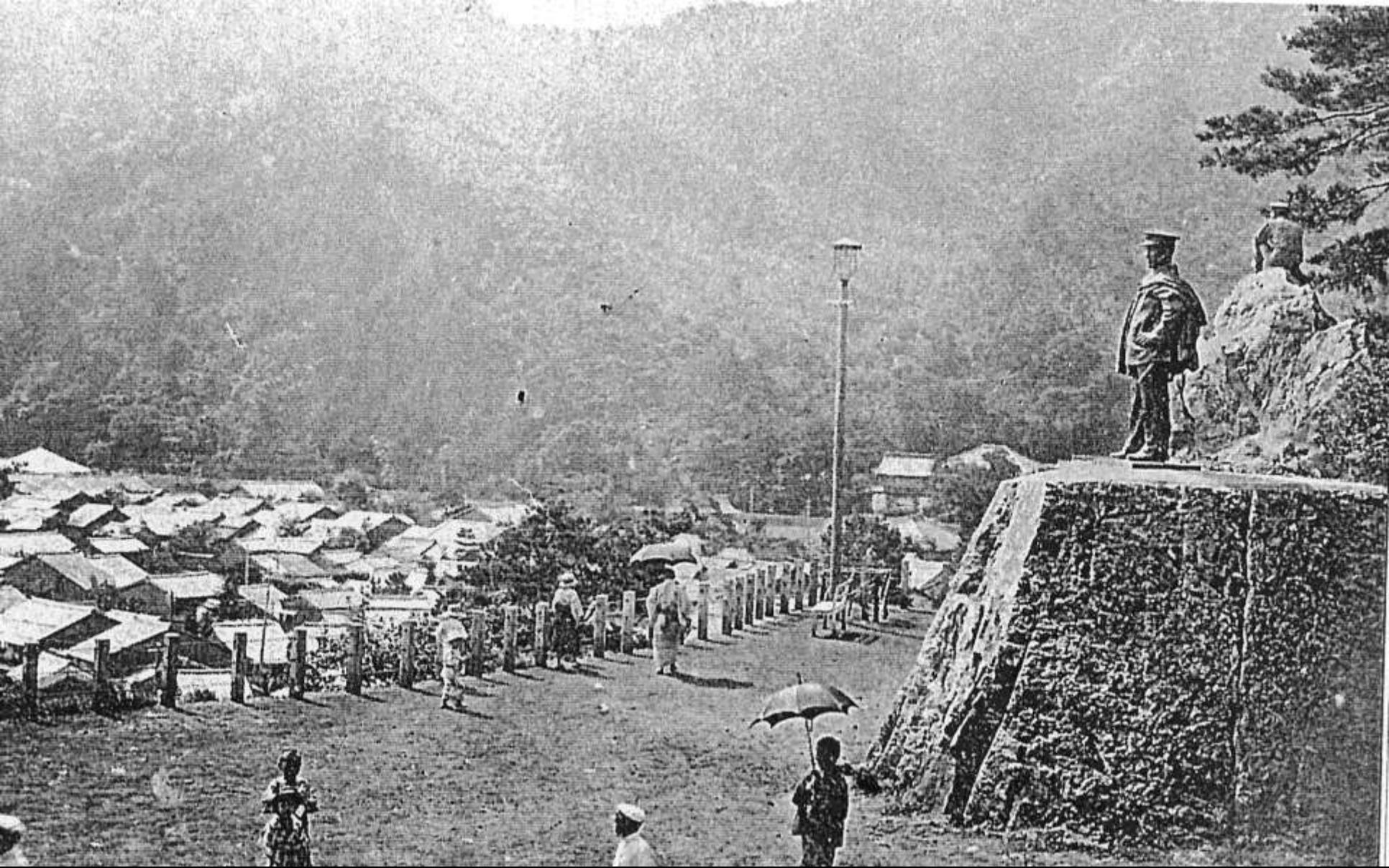




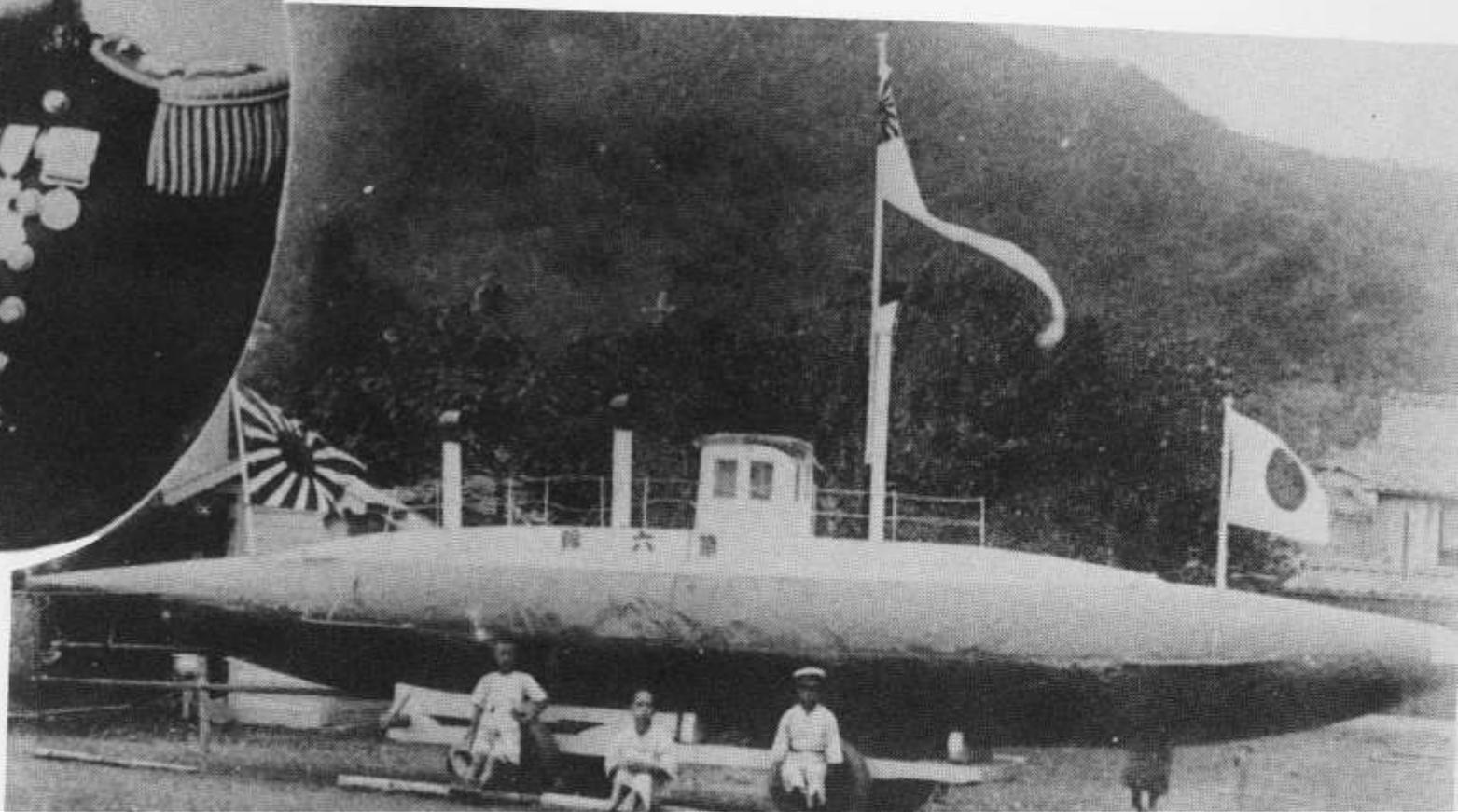
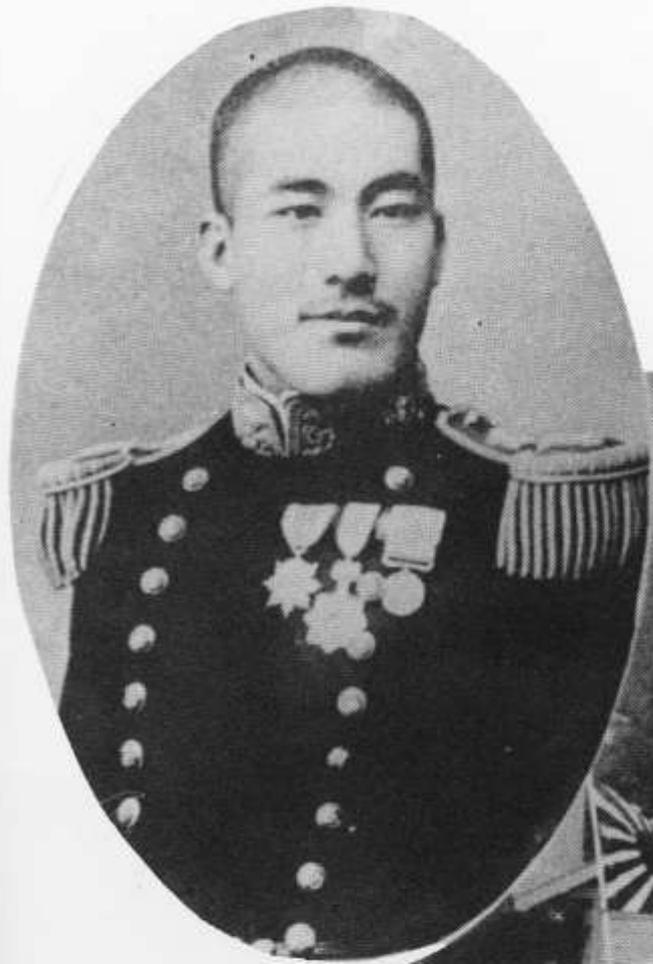
大正3年、佐久間艇長銅像の除幕式(小浜海岸)



大正3年、佐久間艇長銅像の除幕式(小浜公園)



大正6年頃の銅像と小浜公園



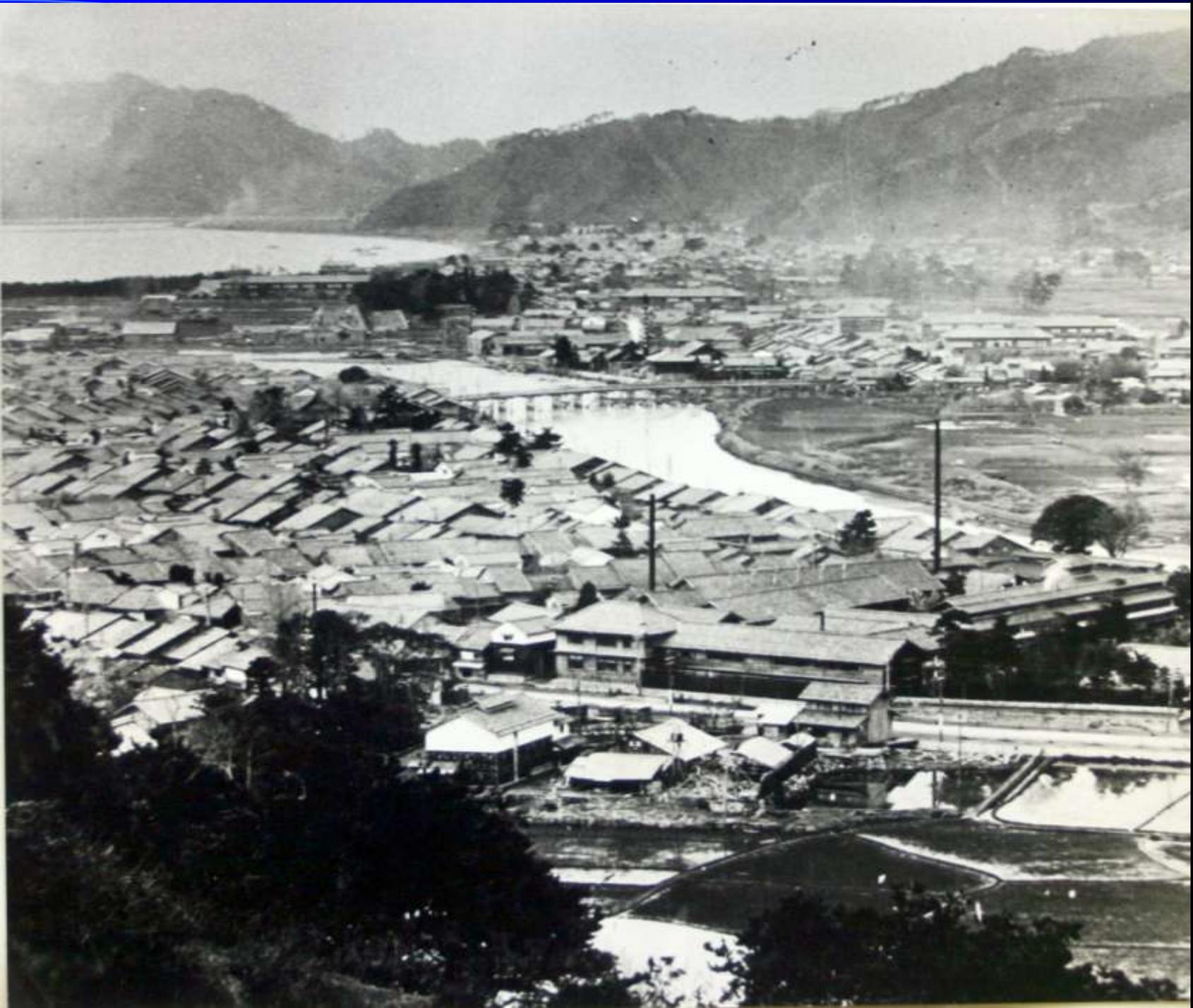
大正5年、小浜公園に造られた第六潜水艇模型



大正3年小浜中学校ボート競技会(佐久間型ボート)



佐久間艇長が学んだ県立小浜中学校



佐久間艇長が中学生時代の
小浜の様子(後瀬山から)

明治12年(1879)9月、三方郡八村(現若狭町北前川)で前川神社神官で小学校教師でもあった佐久間可盛の二男として生まれる。

福井県立小浜尋常小学校から、攻玉社を経て、明治34年に海軍兵学校を卒業した。明治36年に海軍少尉。日露戦争時には、巡洋艦「吾妻」、「笠置」などに乗り組んだ。戦後には、海軍水雷術練習所に学び、水雷母艦「韓崎」、第1艦隊参謀、駆逐艦「春風」の初代艦長などを歴任し海軍大尉となり、明治41年には国産第1号の第6潜水艇隊艇長を命ぜられた。

明治43年4月15日、第6潜水艇は山口県新湊沖で半潜航訓練中に沈没。佐久間艇長以下14名が殉職した。2日後、引き上げられた潜水艇から艇長の遺書が発見され、20日に公表されると国内外に大きな反響を呼んだ。手帳に記した遺書は39ページに及び、沈没の謝罪から事故の分析まで詳細に記し、部下たちも絶命まで持ち場を離れることがなかった。

この沈着勇断な艇長および乗組員の行動は感銘を呼び、各国から多数の弔電が届き、英国海軍では潜水艦の教書に現在でも紹介されている。また、小浜では艇長が設計した佐久間型ボードによる競技も行われ、小浜中学校の校歌として永く歌われた。

折しも、山川登美子没から丁度一年後の出来事。同時代を生きた与謝野晶子も艇長の沈着勇断を歌にして偲んでいる。

小官ノ不注意ニヨリ陛下ノ艇ヲ沈メ部下ヲ殺ス
誠ニ申訳無シ サレド艇員一同死ニ至ルマデ皆ヨク
ソノ職ヲ守リ沈着ニ事ヲ処セリ 我レ等ハ国家ノ為
メ職ニ斃レシト雖モ唯々遺憾トスル所ハ天下ノ士ハ
之ヲ誤リ 以テ将来潜水艇ノ発展ニ打撃ヲ与フルニ
至ラザルヤヲ憂ウルニアリ 希クハ諸君益々勉励以
テ此ノ誤解ナク将来潜水艇ノ発展研究ニ全力ヲ尽
クサレン事ヲサスレバ我レ等一モ遺憾トスル所ナシ

沈没原因

瓦素林潜航ノ際 過度深入セシ為「スルイス・バル
ブ」ヲ諦メントセシモ 途中「チエン」キレ依ツテ手ニ
テ之シメタルモ後レ後部ニ満水 約廿五度ノ傾斜ニ
テ沈降セリ

沈没後ノ状況

一、傾斜約仰角十三度位

一、配電盤ツカリタル為電灯消工 悪瓦斯ヲ発生

呼吸ニ困難ヲ感ゼリ 十四日午前十時頃沈没ス
此ノ悪瓦斯ノ下ニ手動ポンプニテ排水ニカム一、

沈下ト共ニ「メンタンク」ヲ排水セリ 燈消工ゲ

ー「ジ」見エザレドモ「メンタンク」ハ排水終レルモノ

ト認ム 電流ハ全ク使用スル能ハズ 電液ハ溢ルモ

少々 海水ハ入ラズ 「クロリン」ガス発生セズ残

氣ハ五〇〇磅位ナリ 唯々頼ム所ハ手動ポンプアルノ
ミ「ツリム」ハ安全ノ為メ ヨビ浮量六〇〇(モーター
ノトキハ二〇〇位)トセリ (右十一時四十五分司令
塔ノ明リニテ記ス)

溢入ノ水ニ溢サレ乗員大部衣湿フ寒冷ヲ感ズ 余ハ
常ニ潜水艇員ハ沈着細心ノ注意ヲ要スルト共ニ大胆
ニ行動セザレバソノ發展ヲ望ム可カラズ 細心ノ余リ
畏縮セザラン事ヲ戒メタリ 世ノ人ハ此ノ失敗ヲ以テ
或ハ嘲笑スルモノアラシ サレド我レハ前言ノ誤リナ
キヲ確信ス

一、司令塔ノ深度計ハ五十二ヲ示シ 排水ニ勉メドモ
十二時迄ハ底止シテ動カズ 此ノ辺深度ハ八十尋
位ナレバ正シキモノナラン

一、潜水艇員士卒ハ抜群中ノ抜群者ヨリ採用スルヲ
要ス カカルトキニ困ル故 幸ニ本艇員ハ皆ヨク其
職ヲ尽セリ 満足ニ思フ 我レハ常ニ家ヲ出ヅレバ
死ヲ期ス

サレバ遺言状ハ既ニ「カラサキ」引出シノ中ニアリ
(之レ但私事ニ関スル事言フ必要ナシ田口淺見兄
ヨ之レヲ愚父ニ致サレヨ)

公遺言

謹ンデ陛下ニ白ス 我部下ノ遺族ヲシテ窮スルモノ
無カラシメ給ハラシム事ヲ 我念頭ニ懸ルモノ之レアル
ノミ

左ノ諸君ニ宜敷(順序不順)

- 一、齋藤大臣
- 一、島村中將
- 一、藤井中將
- 一、名和中將
- 一、山下少將
- 一、成田少將
- 一、(氣圧高マリ鼓マクヲ破ラル如キ感アリ)
- 一、小栗大佐
- 一、井手大佐
- 一、松村中佐(純一)
- 一、松村大佐(龍)
- 一、松村小佐(菊)(小生ノ兄ナリ)
- 一、船越大佐
- 一、成田綱太郎先生
- 一、生田小金次先生

十二時三十分呼吸非常ニクルシイ

瓦素林ヲブローアウトセシ積リナレドモ ガソリン
ニヨウタ

- 一、中野大佐

十二時四十分ナリ